

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

第 76 回全国高等学校駅伝競走大会 優勝

学校法人石川高等学校 (4 区走者)

佐藤 梓斗 さん (保原地域)

令和 7 年 12 月 21 日に行われた第 76 回全国高等学校駅伝競走大会。学法石川高校が福島県勢の男子で初となる優勝を果たしました。そこでチームの代表として 4 区を走りぬいた佐藤梓斗さんが、大会を振り返り思うこと。そして今後目指すべき未来像とは…。



Profile ●さとう しゅうと

平成 20 年生まれ。桃陵中学校出身。学校法人石川高等学校 3 年生。ふくしま駅伝伊達市チームにも所属しており、第 37 回大会では伊達市初の区間賞も獲得。第 76 回全国高校駅伝では学法石川の代表として 4 区を走り、区間 3 位の好成績を記録した。



●学校法人石川高等学校 男子陸上競技部 (駅伝)

国内有数の駅伝強豪校。第 76 回全国高校駅伝では福島県代表校として出場。冬の甲子園と言われる本大会において 1 区・3 区で区間賞を獲得し、2 時間 0 分 36 秒の大会新記録で初優勝した。



大会を振り返り

高校 3 年目にして初めての都大路^{みやこおおじ}でした。僕は中学生の頃から特設駅伝部に所属し、ふくしま駅伝でも 1 年生から伊達市チームとして走らせていただけていました。そこで、自分は長距離が得意で好きなんだってことに気が付いて、学法石川高校に入学したんです。ずっと都大路での優勝を目標にしてきましたが、けがが原因でこれまで出走できずにいました。実は今大会も、県予選の前にけがをしてしまい、予選では出走することができなかつたんです…。そんな故障ばかりの僕を松田和宏監督は信じて 4 区に起用してくれました。本当に感謝しかありませんし、監督の普段の教

えのおかげで、僕は今回の結果が出せたんだと思っています。そして臨んだ都大路。とても緊張しましたが、1 区の増子陽太くんをはじめとした前の 3 人の走りを見て、「やるしかない」と覚悟が決まりました。後半苦しい場面もありましたが、これまでの練習や支えてくれたたくさんの人たちの応援が背中を押してくれて、がんばって走り切ることができました。個人的に目標としていたタイムは出せませんでしたが、持ち味を生かした走りができ、チームがひとつになつて優勝できたので本当にうれしかつたです。

緊張しやすくて…

大会の日の朝は緊張で朝食が食べられないで栄養補助食品

夢に向かって走り続ける

高校卒業後は神奈川大学に進学します。駅伝チームで箱根駅伝に出場し、エース区間となる 2 区を走ることが夢です！

そして、支えてくれるたくさんの人に、勇気や感動を届けられるような走りをしたいと思います。



だけ食べて大会に臨みます。今ではそれがルーティンになつていて、食べちゃうと逆に調子が出て、食べちゃうと逆に調子が出ないんですよ（笑）

ただ、前日には母がうなぎを食べさせてくれたこともあって、おかげでごく気合いが入りました！